

# しらかべ



2015年7月16日 人権・同和教育部発行

盛夏の候、保護者の皆様方におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃は本校の人権・同和教育にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今月号は6月に行った「人権・同和教育 LHR」での学習内容を学び終えた生徒の感想を中心に紹介します。ぜひ、ご家庭でお読みいただければ幸いです。また、LHR後に家庭で話し合った内容や「しらかべ」をお読みい



ただいた感想や本校の人権・同和教育の取り組みについてのご意見などがありましたら、別紙返信用紙にご記入の上、1学期保護者懇談の折に担任の先生にお渡しください。

## 「みるく世(ゆ)がやゆら」ー沖縄戦から70年ー

「今は平和な世の中なのではないでしょうか」という意味の沖縄県の言葉です。沖縄戦の戦没者20万人以上を追悼する「慰霊の日」に追悼式が行われました。その式で沖縄県の高校生が、戦争体験の記憶が遠く現状を憂い、平和を未来につなぐ決意を込めた「平和の詩」を朗読しました。彼の祖父の姉は沖縄戦で夫を失い、夫に先立たれた女性を歌った「軍人節」という歌を何十回も口ずさむ姿を見て、大伯母の気持ちに寄り添いたいと思ったそうです。その大伯母は90歳を超えて認知症が進んでいます。夫との思い出も、戦争の記憶も奪われようとしている。「忘れてはならぬ 彼女の記憶を 戦争の惨めさを」「伝えねばならぬ 彼女の哀(かな)しさを 平和の尊さを」と皆に訴えました。最後に彼は、「彼女の記憶を心に留めるみるく世の素晴らしさを未来へとつなぐ」と詠いました。

沖縄県糸満市摩文仁に立つ沖縄県平和祈念資料館には、

「戦争をおこすのはたしかに人間です

しかし それ以上に戦争を許さない努力のできるのも 私たち人間ではないでしょうか」

と記されています。平和を守っていくために、私たちは何をしていくべきなのか?本気で考えていかなくってはいけないのだと思います。

## 8月は「同和問題啓発強調月間」です

香川県人権啓発推進会議では、1965(昭和40)年8月に「同和対策審議会答申」がなされたことから、8月を「同和問題啓発強調月間」と定めています。同和問題は、我が国社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、今日でも、憲法で保障されている基本的人権が十分に保障されていないという重大な社会問題です。同和問題の解決を図るためには、すべての人々がお互いの人権を大切にすることの重要性を正しく理解し、行動することが必要です。

この夏休みを、お子さまと一緒に人権について理解を深めるきっかけにしませんか。



## <一学期の取り組み>

6月3日に、高校に入学して初めてとなる人権・同和教育のLHRを行いました。人権とは何かを改めて考えるとともに、クラス独自の人権スローガンを作成しました。自分が今欲しいものを各自で列挙した後、今度はグループになって、誰にとっても「必要不可欠なもの」を考えました。自分中心の考えから他者への思いやりへと視点を広げていくことを目指しました。その後グループで「過ごしやすいクラスになるための5か条」を考え、それをもとにクラス独自の人権スローガンを決定しました。グループでの話し合いが初めてとあって、生徒たちはお互いにイキイキと意見交換し、班活動を楽しんでいる様子が見られました。クラス全体が団結し、よりよいクラスづくりを目指す良い機会となっていたと思います。以下に、今回決定したクラスの人権スローガンと、事後アンケートから生徒の感想をいくつか紹介いたします。

### 【クラスの人権スローガン（一部）】

「助け合い みんなで増やそう ありがとう」

「あ（かるく）が（んばる）ちゃん（とする）」

「愛します 皆で皆を 愛します」

「ストップ・ザ悪口 ～親しき中にも礼儀あり～」

などです。

### ◆ 生徒の事後アンケートより



- 皆が欲しいものは結構共通していて面白かった。他の班の発表を聞いていて「思いやり」も大切だとはっとした。スローガンのもと、より一層クラスが団結できる気がする。
- 誰にとっても時間やお金は大切だが、それだけではみんなが過ごしやすい環境にはならない。全員が思いやりの心を持ち、助け合って過ごすことができれば良いと思った。
- 一人一人が全力で生活しながら愛を伝え合う、言い換えると、みんなが相手のことを思い合うことは大切だと思った。このスローガンで皆が団結できるといいと思う。
- 親しくなり過ぎて言葉がきつくなったり、好き放題言って仲間を知らず知らずのうちに傷つけてしまうのが一番怖い。この授業で決まったスローガンを常に念頭に置き、異なる考えやセンスを持った仲間を理解・尊重することで、全員で気持ち良いクラスを作っていきたい。

また、このLHRでは、HR委員が運営をしました。その感想を紹介します。

今回を通して、人権を考えること、みんなの意見をまとめることの難しさがよくわかりました。その中で決まったクラスの人権スローガンは、「We are One」で意味は私たちは一つです。これから、このクラスで1年間活動する中で、お互いの人権を尊重しあえることが大切だと思います。そして、2年生に上がるときにこのクラスでよかったなあとみんなが思えるように活動したいです。

このLHRで話し合ったことを活かし、生徒みんなの力でいいクラスにしてほしいと思います。また、これからの人権・同和教育学習で学ぶことが、人権を大切にする姿勢へと育まれていくことを願っています。ご家庭でも、お子さまから話を聞いていただければと思います。